

新年度予算の重点施策

- 1 暮らしの安心と安全の確保
- 2 台風第19号の教訓を踏まえた災害に強いまちづくり
- 3 「新しい米百俵」による人材育成と未来への投資
- 4 長岡の魅力発信と交流・関係人口の拡大
- 5 行政サービスの効率化と利便性向上

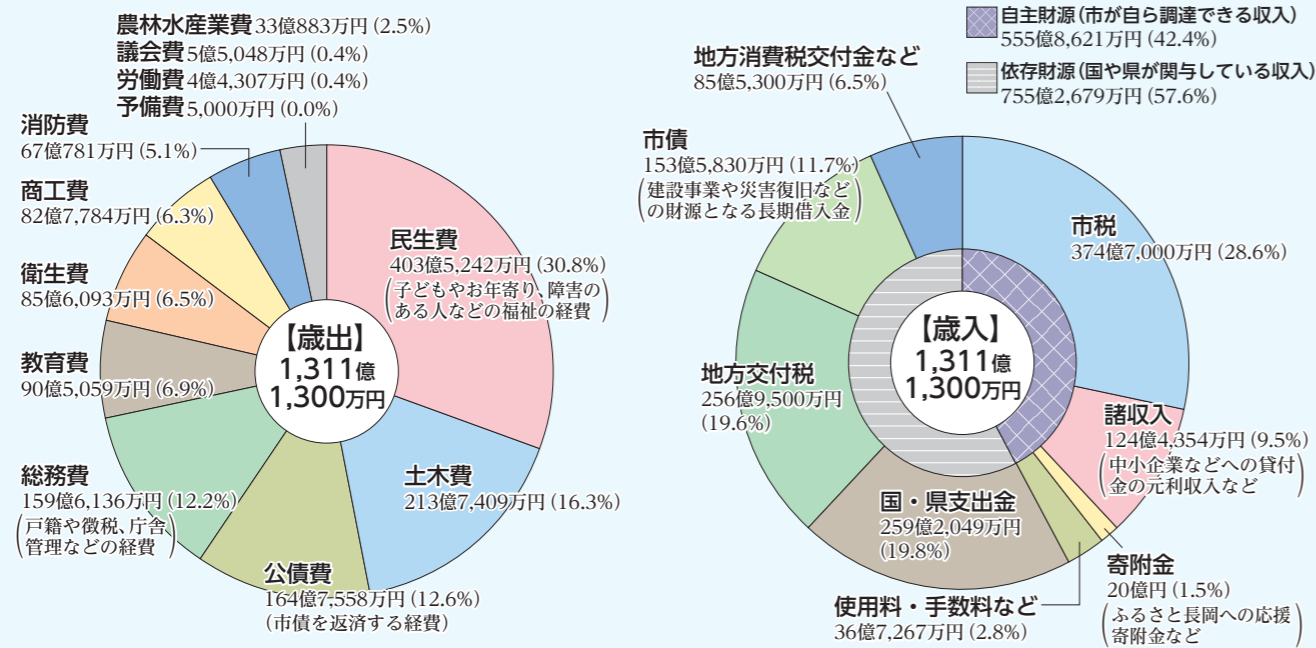
暮らしを守り、市民とともに長岡の未来を創る

令和2年度
予算

←具体的な取り組みは8～11ページへ

予算の状況

一般会計は1,311億1,300万円 (前年度比3.1%減)



令和2年度の当初予算が決まりました。予算の骨格をお知らせします。

図財政課 ☎39・2209

令和2年度は、市民の安全と暮らしの安定に全力を尽くすこと、長岡の将来の発展を見据えた人材育成や産業振興など「新しい米百俵」をさらに加速させること、持続可能な行財政運営の第一歩を力強く踏み出すことの3点に全力で取り組みます。

まちづくりには、地域の力を高め、地域のつながりを強くする地域共生が重要です。がんばる市民の活動、ふるさと長岡を盛り上げる活動への支援を充実します。そして、健康、福祉、子育て、防犯などにきめ細かく対応し、暮らしの安心と安全の確保を図ります。

昨年の台風第19号の教訓を踏まえ、市民や地域と協力した防災体制の強化や、治水・内水対策など災害に強いまちづくりに取り組みます。

「新しい米百俵」による人材育成や、教育環境、都市インフラ、産業振興など、長岡の活力を高める「未来への投資」も進めます。また、今年の秋にオープン予定の道の駅「ながおか花火館」など、地域資源を活かした交流基盤の整備や交流機会の拡大を図り、長岡の魅力を全国・世界に発信します。

さらに、行財政改革に真摯に取り組むとともに、有識者などからの意見も踏まえ、持続可能な行財政運営を着実に進めます。

ふるさと長岡が将来にわたって輝き続ける都市であるために。市政のあらゆる分野に新しい発想を取り入れるイノベーションの視点に立ち、新たな価値を創造していくまちづくりを、市民のみなさんとともに進めていきます。

特別会計 549億4,830万円

特定の収入(保険料や使用料など)で支出を賄います。

国民健康保険	235億5,150万円
国保寺泊診療所	8,020万円
後期高齢者医療	30億6,010万円
介護保険	279億1,700万円
診療所(小国・山古志)	2億8,900万円
浄化槽整備	5,050万円

企業会計 290億1,180万円

市が企業として経営し支出は収益で賄います。

下水道	176億9,460万円
水道	104億6,560万円
簡易水道	8億5,160万円

一般会計+特別会計+企業会計 =

総額2,150億7,310万円

※一般会計および下水道事業会計において、国の補正予算に伴い、令和2年度に予定していた事業を前倒して切れ目なく進めています

予算書は、アオーレ長岡情報ラウンジ、各支所の情報閲覧コーナーなどでご覧いただけます